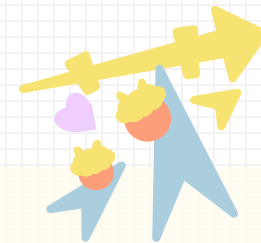


茨木市行財政改革指針概要版

2025改定版



第1 行財政改革の基本的考え方

01 指針改定の背景

- ・これまでの取組
継続的な財政の健全性とサービスの維持向上を両立
- ・変化する社会情勢と財政環境
人口構造の変化、デジタル化の進展やAI技術の進歩、物価高騰や社会福祉経費等の増加
- ・「次なる茨木」へ向けて行財政改革に挑む
第6次総計の実効性の確保し、「Re・行革」を進める
(本指針の改定 ▶ Renewal
事業のあり方・進め方の見直し ▶ Redesign
市民目線の窓口の実現 ▶ Reborn)



02 改定にあたっての考え方

- ・計画的な行財政改革の推進により弾力的な基盤を確立
- ・第6次総合計画の共創のまちづくりを支える
- ・市民サービスの向上をめざす

03 基本目標とポイント

基本目標

「次なる茨木」を支える行財政運営の実現

- ポイント
- ・共創
 - ・効果の最大化
 - ・中長期的な視点

第2 行財政改革の推進体制等

01 推進に向けた体制

- ・各部課長を中心とした全職員による推進
- ・組織横断的な推進体制
- ・自由で柔軟なアイデアを生み出す環境づくり

02 総合計画マネジメントサイクルにおける行財政改革の推進

総合計画における施策評価・実施計画等によるPDCAサイクルの各段階において指針を踏まえる

03 取組内容等の公表

- ・新たな進捗確認の方法を確立していく
- ・実施計画における適切な立案と実施した取組内容等を取りまとめて毎年公表



第3 行財政改革の具体的事項

基軸1 多様な主体とのまちづくり

① 共創による新たな価値の創造

多様な主体との連携の推進 / 「共創の場」の展開促進 / 市民参加型手法の推進など

② PPP手法等の活用

窓口業務、庶務事務等の委託化の検討 / 業務の包括委託化の検討 / 民営化、PFIの検討など

基軸2 効果的・効率的な事務事業の実施

① 事業のあり方・進め方から見直し

ビルド&スクラップの実践 / 徹底した見直し (Redesign) の実施など

② 利用しやすい窓口に向けた見直し

フロントヤード改革 (Reborn) の実施 / BPRの手法を活用した業務フロー改善など

③ 補助金、扶助費等の見直し

補助金の見直し / 負担金の見直し / 扶助費の見直しなど

④ 公共施設等の適正管理と有効活用

公共施設等の予防保全と長寿命化 / 公共施設の複合化・多機能化、統廃合など

基軸3 将来を見通した弾力的な財政基盤の確立

① 計画的な財政運営

中長期財政見通しの策定 / 地方公会計の活用 / 市の財政に関する情報提供など

② 負担の公平性確保

適切な債権管理による収納率の向上 / 未収金対策の強化 / 市民向け講座の受講料の見直しなど

③ 新たな財源の確保

広告事業の推進 / ネーミングライツの活用・検討 / 市の遊休地の売却・貸付など

基軸4 行政体制の変革

① 柔軟で機動的な組織運営

組織機構の再編整備 / 組織間の連携強化 / 自治体間連携の推進など

② 職員の育成

人材育成・確保基本方針に基づく職員研修の充実強化 / デジタル人材の育成など

③ 多様な人材活用による行政施策の充実

専門的知識を有する任期付職員のさらなる活用 / 複線型人事制度の効果的な運用など